

3-1-6 データの受け渡しから入稿まで

前提：クライアント・設計 / デザイン会社から完全データを支給いただくことが前提になります。

※完全データとは、修正の必要がない制作データののことを言います。

内容	チェック項目
①打ち合わせ	<input type="checkbox"/> 案件名/仕様/納期などの確認
②データの受け取り	<input type="checkbox"/> 日付・ファイル名を記載
③データを開く	<input type="checkbox"/> ファイルの圧縮
④内容の確認	<input type="checkbox"/> 送信方法の選択
⑤状況によりプリントアウト	・メールに添付
⑥顧客との確認事項の共有	・ファイル転送サービスで送信
⑦自社またはパートナーへ製作依頼（入稿）	※必ずパスワードロックをつける
	<input type="checkbox"/> 完全データかどうか
	<input type="checkbox"/> 開けるかどうか
	<input type="checkbox"/> 確認事項があるかどうか
	<input type="checkbox"/> 補助作業
	<input type="checkbox"/> 最終承認

3-1-7 解像度とは

表示の細かさを表す度合いのこと。単位は「dpi」で表します。「dpi」は「dots per inch(ドット・パー・インチ)」の略で、幅 1 インチ(約 2.54cm)にどれだけ「ドット(点)」が含まれているかを表しています。



3-1-8 主なトラブルの内容と原因、対処方法

トラブル	原因	対処方法
データが開かない	データを作成したソフトと、開こうとしたソフトが違う	作成元で作成したソフトと同じソフトで開く
	データ作成したソフトのバージョンより、開こうとしたソフトのバージョンが低い	作成元に保存バージョンを下げてもらう
	データが壊れている（メール等で送られてきた物や、記憶した媒体が壊れている）	再度送ってもらう
	圧縮ファイルになっている	圧縮ファイルをPC上で解凍する
カットिंगができない	イラストレーターでアウトライン化されてない	作成元に文字やオブジェクトに対し、アウトライン化したデータを再度送ってもらう
データを開くとフォントが変わる	作成したソフト上で文字をアウトライン化してない	作成元に文字やオブジェクトに対し、アウトライン化したデータを再度送ってもらう
開いたデータがIllustratorで編集ができない	データをpdfで保存する際、Illustratorで再編集のチェックボックスにチェックが入っていない	IllustratorでオリジナルファイルのaiやEPSファイルを開き、再度pdf形式での保存画面にて再編集のチェックボックスにチェックを入れて保存したデータを再度送ってもらう

- アウトライン化=フォント（テキスト文字）を図形化すること

サインの森

× アウトライン化されていない

サインの森

○ アウトライン化されています

フォントがアウトライン化されていない場合、データを開く PC に「同じフォント」が「同じ名前」で入っていないと別のフォントに置き換わったり、文字化けが起こります。デザイン通りに出力するために、納品データは、必ずテキストをアウトライン化（図形化）しておきましょう。